

Japio YEAR BOOK 2023

発行にあたって



一般財団法人日本特許情報機構
理事長

細野 哲弘

Japio YEAR BOOK は、平成 17 年の創刊以来、特許情報に関する施策や取組、機械翻訳や特許検索等のテーマを中心に、各界第一線でご活躍の皆様からご寄稿いただくとともに、関連するシステムとサービスの情報を合わせてご紹介する「年誌」として、発行を重ねてまいりました。今年も、特許庁、独立行政法人工業所有権情報・研修館、賛助会員、歴代の財団役員、評議員及び関係各位の皆様のご声援を賜りつつ、Japio YEAR BOOK 2023 を発行することができましたことを、心より厚くお礼申し上げます。

さて、今回の特集テーマは、「リアルとバーチャルの融合化社会に向けた知財戦略」です。近年、XR（クロスリアリティ）技術の進展により、メタバース空間のようにリアルの世界とバーチャルの世界が融合して新たな価値を生み出す時代がやってきました。高速なインターネット環境を誰もが利用できるようになり、コンピュータの処理能力が飛躍的に向上した現代においては、より多くの人々がバーチャル空間上で新しいコンテンツを創造したり、コンテンツを取引することができるようになりました。今までリアルの世界が中心だった経済活動がバーチャルの世界に流れ込むことで、産業構造に大きな転換期が訪れようとしています。こうした状況の下で、知財が果たす役割はどのように変化しているのか？ 今回の特集では、リアルとバーチャルの融合化社会を支える最新技術を踏まえて、デザインやブランドを中心として知財の政策・戦略・活用の観点からどのような変革が起きているのかを読者の皆様にお届けしたいと思っております。

激変する世界において、新しいビジネスを生み出し、経済を維持・発展させていくためには、これまで以上にイノベーションが求められる時代となっています。イノベーションの創出には世界的規模での特許情報の分析と活用が必要不可欠といえます。本誌に掲載された記事や情報が、特許情報等のさらなる活用に向け、時代に先んじていくための一助となれば幸いです。

特許情報への期待が一層高まる中、産業財産権に関する質の高い情報を提供することにより経済・社会の発展に貢献するという当財団の経営理念に立ち返りつつ、皆様のご期待に応えられますよう、職員一同、専門性を磨き最善を尽くす所存であります。今後とも皆様のより一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。